

糖代謝異常妊産褥婦への看護支援セミナー

今春、「在宅妊娠糖尿病患者指導管理料」が産後に拡大！しました。周産期医療に携わる私たちには、糖代謝異常を抱える妊婦に対して、妊娠期・分娩期の支援のみならず、産後も長期に渡って支援することが求められています。今年のセミナーでは、「在宅妊娠糖尿病患者指導管理料」を助産師外来において実践し、妊娠期から産後への一環した支援方法を伝授します。周産期・育児期の糖代謝異常のリスクに対して適切に支援することは、女性の一生の健康を支援すると考えます。

2日間の受講で、周産期・育児期を専門とする看護職が、この時期の糖代謝異常に関わる科学的に正しい情報を獲得し、適切に支援できることを目指しています。また、**CLoCMiP®レベルⅢ認証申請に利用可能な研修として開催します**。これまで、大阪、東京、岡山、仙台でそれぞれ開催してきました。コロナの今年は、ZOOMを用いた遠隔開催で、より簡便に受講可能です。ご参加お待ちしております。

【対象者】 テーマに関心を持つ看護職(助産師、看護師、保健師)及び栄養士等の医療職

【開催日】 ZOOM(参加費の振り込みが確認された時点で、参加方法を個別にご案内します)

第1回:10月3日(土)・4日(日) 第2回:11月28日(土)・29日(日)

【参加費】 10,000円(会員)、20,000円(非会員)

*2日間の受講が確認された方に、日本母性看護学会の受講証明書を発行します。

【定員】 1回40名

【申込方法】 下記申し込みアドレスまで、氏名、メールアドレス、職種、所属、助産師免許番号(ラダー修了証書希望の場合)をお知らせください。申し込み確認後、振込先情報をお知らせします。

【申し込み先】 snarita@jichi.ac.jp

【応募期間】 第1回:2020年9月1日~9月24日、第2回:2020年9月1日~11月19日

1日目(10月3日or11月28日(土))

8:00~ 8:30~ 8:50~ 10:20	ZOOM参加確認 オリエンテーション (事前テスト) 糖尿病と妊娠期の糖代謝状態の基礎知識 講師:成田 伸
10:30~ 12:00	糖尿病の食事療法 講師:長谷川陽子
13:00~ 14:30	周産期の糖代謝異常の診断と治療 講師:安日 一郎
14:40~ 16:10	糖尿病の血糖コントロールと食事:運動 講師:成田 伸
16:20~ 17:00	糖代謝異常妊産褥婦の心理・体験 (事後テスト) 講師:山田 加奈子

2日目(10月4日or11月29日(日))

8:30~ 9:00~ 10:00	ZOOM参加確認 診療報酬の仕組みと 在宅妊娠糖尿病患者指導管理料 講師:林 佳子
10:10~ 11:30	在宅妊娠糖尿病患者指導管理料に助産師が関わる方法 講師:森重圭子
12:30~ 14:00	糖代謝異常妊産褥婦の看護の基本 講師:成田 伸
14:10~	この後の進め方の説明とグループ登録《以下は、5名程度のグループで双方向で行います》
14:30~ 16:30	妊娠糖尿病と診断された女性への支援(事例検討)&ディスカッション(自施設におけるGDM妊産褥婦支援の現状と課題) グループ毎にファシリテーター
16:40	修了(ZOOM参加確認)

*1日目の講義については、助産実践能力習熟段階(クリニカルラダー)レベルⅢ認証申請に活用可能な研修(必須研修:⑥フィジカルアセスメント:代謝)に登録しています。助産師でご希望の方に修了証書を発行します。

【講師】 安日 一郎(長崎医療センター産婦人科医)

長谷川陽子(東京大学病院管理栄養士、博士(看護学))

成田 伸(自治医科大学看護学部 教授、日本母性看護学会理事、看護政策検討委員会委員長)

山田 加奈子(大阪府立大学講師、看護政策検討委員会委員)

林佳子(札幌医科大学講師、看護政策委員会委員)

森重圭子(市立吹田市民病院(母性看護専門看護師)、日本母性看護学会GDMセミナー一部会委員)

【ファシリテーター】

日本母性看護学会生涯学習支援委員会GDMセミナー一部会委員:

佐藤ひさ代(自治医科大学附属病院母性看護CNS)、千葉貴子(愛染橋病院母性看護CNS)

日本母性看護学会看護政策検討委員会委員

松原まなみ(関西国際大学教授、日本母性看護学会APN委員会委員長、看護政策委員会委員)、

坂梨薫(関東学院大学教授)、出井陽子(ピジョン株式会社 哺乳・授乳研究室研究員)